

なかい 議会だより



里都まち生活満喫
(関連記事は14ページ)

9月議会定例会
まちづくりを問う
一般質問6人が登壇

②

⑦



議会ホームページ



第213号

令和7年11月1日発行

神奈川県中井町議会

9月定例会

「こころが
ぎぎたい！」



令和6年度決算を認定

歳入 49億7140万円 歳出 46億1512万円



録画配信

総務費

7億5927万円

問 施政方針の中に町内在住の外国人との多文化共生を促進するとありますが、国際交流会は実施しましたか。

答 公民館で外国の方を招き、おにぎりとお汁を作る「はじめてのおにぎりきょうしつ」を実施しました。



食文化交流 はじめてのおにぎりきょうしつ

問 空き家調査を空家等対策計画にどういう形で反映させていきますか。

答 空家等対策協議会において、町全体を見た中で一番

マッチするような形で対策計画を定めていきます。

問 グリーンテックなかいの中に、広い空き地があります。新たな企業誘致の働きかけを、町でもできることも検討すべきでは。

答 県や会社から打診もあり、成約するよう働きかけていきます。

民生費

13億4621万円

問 新しく子育て支援計画を策定されましたが、これまでと違った取組は。

答 従来の計画を引き継ぐ形ですが、新たに子ども家庭センター、なかいネウボラ、子どもの貧困とヤングケアラー、産後ケアや外国につながる子どもを盛り込んでいます。



中井町子育て支援センター「ひまわり」

問 補聴器購入助成費補助金は。
答 本人が非課税であることが要件で、加齢性難聴の診断を受けてから申請し、その後購入後補助という流れです。令和6年度に始まった事業で、1人2万円で30人と

いう予算でしたが、結果は2人でした。

問 なかいこども園の園児数と職員数のバランスは。

答 園児数は年々減少していますが、保護者の仕事のスタイルも変わってきており、長時間預ける子どもが増加しています。配置基準もあり一概に減っているからといって、職員を減らすことはありません。

商工費

1億1184万円

問 ふるさと納税返礼品の傾向は。
答 6年度では、電動アシスト自転車、チヨコレート関係とキウイフルーツなども上位に入っています。

問 里都まち交流拠点の運営は、どのような形ですか。

答 公設民営で集客は土日が多く、維持管理経費として光熱水費、建物に関する大きな修繕は町で負担しています。イベント開催も行っています。

問 里都まちブランド事業費のブランド推進事業委託料の内容は。

答 商工会実施の花見で花火のイベントでの販売促進の委託料です。

問 観光振興費は令和5年度、6年度ともに当初予算、補正予算、決算がほぼ同額です。その要因は。

答 竹灯籠の夕べ、あかりの祭典、美緑なかいフェスティバルに対しての補助金がメインです。事業実施後に収支の決算を行い、不用額を減額補正しています。



なかい里都まちCAFE

問 震生湖橋架け替え工事負担金ですが、秦野市の全額負担ということですが、当初予算に計上されずにいましたが。
答 土地所有者への11月から今年3月までの借地料です。

問 不妊治療費補助の内容は。
答 体外受精・顕微授精は保険適用になり、それにつながる先進医療が対象となっています。



未病センター・なかい健康づくりステーション

問 健康・体力づくりステーション事業について、平日の9時から17時まででは働き世代の人が行ける時間帯ではないので、見直しは。
答 時間等については、新たな生涯学習施設の中での対応と考えています。

土木費

9億7503万円

問 中井中央公園施設利用料が、270万円減少していますが、その原因と対策は。

答 週末の天気が悪い時期が続いたこと、パークゴルフ場利用も若干減少していることが要因です。対策は、指定管理者側の自主事業等で利用推進を行っています。

問 中央公園野球場スコアボードが、LEDモニターに改修され、どのような機能と使い方ができますか。

答 スコアボードLED盤面は、幅14m、高さ5.8m、面積約81㎡です。このLED盤面で、野球のスコアや出場選手等が表示でき、放送室のパソコン等とつなぎ、映像や文字も表示できます。

またバックスクリーンカメラの映像を、LED盤面に映し出せる機能もあり、パブリックビューイングや屋外映画上映などの活用が可能です。

問 道路新設改良費測量等業務委託料の道路詳細設計内容は。

答 藤沢小竹線の道路改良工事詳細設計等で、現車道幅員5mを7mに、歩

教育費

5億4723万円

問 通訳者・日本語学習支援者の有償ボランティアは、学校でどのような役割を担っていますか。

答 学年により学習する内容も違い個別に担当する必要がある中で、先生プラスボランティアの方がいることできめ細やかな指導ができています。

問 各小中学校のICT支援業務委託の内容は。

答 教員向けタブレットや校務システムを先生が正しく活用できるようチャットや現地訪問による相談支援です。

問 生涯学習施設整備基本構想計画策定、設計者選定支援業務等委託は随意



中井中学校校舎

契約ですが、どう考えて契約しましたか。

答 短期間で業務を遂行するためには、数多く関わり熟知している業者と判断し、随意契約としました。

道1.5mから2.5mに拡張。延長は、北側県道交差点から南側に191mの設計を実施。



中央公園野球場スコアボード

消防費

1億8964万円

問 災害用非常食の備蓄量及び消費期限等による入れ替え数は。

答 備蓄量は、都心南部直下型地震の避難等を想定して、1万8470食を確保。3628食を入れ替えました。

問 地域防災計画に要配慮者や季節性に配慮した備蓄品目の検討があります。具体的にどのような備蓄の検討を行いましたか。

答 粉ミルクやアレルギー対策用食料の備蓄です。

問 自治会への防災資機材購入補助金とは。

答 購入額の8割で、上限20万円の補助です。

水道事業会計

7億9243万円

問 水道料金の改定は、安易に町民に負担増を求めないように。

答 今年度、今後の更新需要も見込んだ中で経営状況の分析結果等を見て、今後の料金改定を考えていきたいです。

下水道事業会計

6億8201万円

後期高齢者医療事業特別会計

2億629万円

介護保険特別会計

9億2426万円

国民健康保険特別会計

10億2417万円

決算に
対する

反対討論

曽我尚人 議員

町民への理解と

適切かつ丁寧な町運営を望む

不育治療の制限撤廃や不妊治療、帯状疱疹ワクチンへ加齢性難聴者への補聴器購入など町民のニーズに合わせて新たに始めた補助など、引き続き需要に合わせて臨機応変な対応をお願いします。

全体的に目標設定が不明瞭な点が多く一つ一つの事業に対して、毎年の目標設定とそれに対しての反省をしっかりとすりべきです。

反対の最大の理由は生涯学習施設に関して不明瞭な点が多いこと。

1点目に進まない情報開示と住民理解。地域説明会の時期が示されておらず、開催できない理由も不明瞭、一刻も早く正確な情報を説明するべきです。

2点目に計画のペースが異常である点。令和6年に再開して令和9年完成という早すぎるペース、決定機関を設けない体制など町の一大事業を行うにとしてはあまりにも不適当です。

3点目に随意契約が不透明な点。随意契約の正当性や理由を求めています。能力の高い会社であり、ここしか出来ないという不誠実な答えは納得がいきません。

大きな事業だからこそ町民への理解と丁寧な進め方をすべきで、一刻も早い説明を望みます。

決算に
対する

賛成討論

多田 勲 議員

町民生活安定と

地域経済維持決算として評価

令和6年度一般会計決算については、コロナ後の社会・経済変化や物価高騰の中で、町民生活の安定と地域経済の維持を重視し、町政を計画的に進めた点で評価できます。

歳入では、町税収納率や基金比率を健全に維持し、前年度比4.1%増で安定を確保しました。歳出では、竹林調査による里山保全、区画整理組合への補助、空き家調査や子育て世帯への住宅取得支援など、人口減少対策を進めました。高齢者支援では補聴器購入助成やオンデマンドバスの更新を行い、自治体DXでは証明書のコンビニ交付により利便性が向上しました。また、不妊治療費や帯状疱疹予防接種助成、学校給食センター耐震化など、福祉・健康・教育に幅広く取り組みました。物価高騰対策では給付金や定額減税補完給付を実施し、町民負担を軽減しました。

生涯学習施設建設では、町民意見を反映する仕組みを整え、ユニバーサルデザインや浸水対策を含め、財政計画に基づき丁寧に進めていたのだと考えます。

今後は町民のウェルビーイング向上を最優先に、費用対効果を分析し、選択と集中を進めた持続可能で公平な町政運営を期待し、賛成討論といたします。

決算に
対する

反対討論

加藤久美 議員

町民納得の決算内容とは言えない

生涯学習施設建設に向けた業務は、10年前の町民アンケートや基本構想、基本計画を流用し進められ、住民のリアルな意見や、実情を反映するプロセスが欠如している。委託業務は随意契約での進行であり、情報公開が不足し、拙速で不透明、金銭面・信頼面での損失リスクが高い。中央公園、湿生公園などは、毎年のように多額の整備費用が投入されているが、決算内容から、公共交通、ゴミ資源化・環境対策、学校教育環境の充実など、自治体が本来担うべき重要な分野では、住民サービスの向上につながる成果と効率性を感じられない。重点配分とした「暮らしの充実」「地域の安心」が、実際にどれほど町民の実感として高まったのか、根拠が乏しい。国や県の補助を活用した事業の多くが活用されずに終わっていることも深刻な問題だ。制度が町民ニーズや時代背景と乖離し、形骸化している結果と受け止めるべきだ。各事業が本来の目的に従って行われているか、対外的投資事業と、住民の暮らしに直結する事業とのバランスは取れているのか、それが町民生活の向上にどう結びついているのか。検証と提言の体制が不十分であるようでは、町の持続可能な発展は見込めない。

決算に
対する

反対討論

尾尻孝和 議員

生涯学習施設建設に

財政説明がありません

学校給食無償化などの独自事業を可能にしているのが中井町の財政です。四半世紀にわたって、中井町の財政が改善されてきました。その最大の要因は、大規模な公共事業・箱物建設を控えてきたからです。

2024年度から始まりました生涯学習施設建設事業。5年間の総事業費は40億円ほどとされ、2024年度歳出総額46億1512万円と比べると、およそ9割の財政規模事業とされます。

この規模の事業に取り組むことで、町民の暮らしを支える各種事業に影響を与えることはないのか。これから先、物価高騰に苦しむ町民の暮らしを支える対策、防災、子育て、高齢者を支える事業、インフラの維持・管理、産業対策など、行政への町民要望にどのように応えていくのか。さらには、中井町すべての公共施設延べ床面積、その6割を占める学校施設の長寿命化・更新の事業も含まれています。その財政裏づけは大丈夫ですか。生涯学習施設建設事業と他の事業との整合性、町財政の検討について、町民への説明がないまま、事業が進んでいます。事業に取り組む判断の前に行うべきことではないでしょうか。

令和7年
第3回定例会

審議した議案と審議結果

会期：
9月2日～9月12日

議会ホームページ

議案	概要	曾我尚人	武井一紀	関野達夫	相原晃一	古宮祐二	多田勲	加藤久美	尾尻孝和	井上泰弘	森丈嘉	岸光男	審議結果
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	町の住民基本台帳に登録されていない者を一元的に登録・管理する機能を取り扱う事務を、個人番号の独自利用を行う事務として条例に定めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中井町税条例の一部を改正する条例	法人町民税の法人税割の超過課税適用期間を5年間延長するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中井町下水道条例及び中井町水道事業給水条例の一部を改正する条例	災害等の際、他の市町村長の指定を受けた工事店等が給水装置等の工事を行うことができるようにするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度中井町一般会計補正予算（第3号）	補正予算16,736千円を追加し、歳出歳入総額5,057,763千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度中井町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正予算842千円を追加し、歳出歳入総額1,043,262千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度中井町介護保険特別会計補正予算（第2号）	補正予算7,326千円を追加し、歳出歳入総額1,020,460千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度中井町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	補正予算2,057千円を追加し、歳出歳入総額220,352千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度中井町水道事業会計補正予算（第1号）	特別利益を5,280千円増額し、特別損失を5,808千円増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決算の認定について （令和6年度中井町一般会計歳入歳出決算）	決算の認定を求めるもの	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	認定
決算の認定について （令和6年度中井町国民健康保険特別会計歳入歳出決算）	決算の認定を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
決算の認定について （令和6年度中井町介護保険特別会計歳入歳出決算）	決算の認定を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
決算の認定について （令和6年度中井町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算）	決算の認定を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定
令和6年度中井町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	剰余金の処分及び決算の認定を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 認定
令和6年度中井町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	剰余金の処分及び決算の認定を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 認定
令和7年度中井町一般会計補正予算（第4号）	補正予算27,401千円を追加し、歳出歳入総額を5,085,164千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中井町教育委員会委員の任命について	新たに早野一郎氏を任命するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※石渡正次議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問



録画配信

学校の将来と生涯学習施設 建設事業を問う



かとうくみ 加藤久美 議員

町長

どういう学校をつくっていくのか、真っさら

- 問** 中井町が持続的に発展し、子どもたちの将来を明るくするためには、適正な規模で安全・快適な学校施設を整備することが欠かせません。子どもたちが「通いたい」と思える学校環境こそが、地域に人を呼び、定住や子育ての後押しにもつながります。令和2年に策定した「中井町公共施設長寿命化計画・学校編」によれば、町の学校施設は20施設中、18施設が築40年以上経過し、老朽化が進んでいます。そうした中、町では、築42年の農村環境改善センターに代わる生涯学習施設建設事業が急ピッチで進められています。少子高齢化が進む小規模自治体にとって、巨額の費用を必要とする公共事業は住民生活全体に影響を及ぼす可能性が高いため、町民への適切な説明責任と合意形成が不可欠です。
- 答** 次年度に検討組織を立ち上げ方向性を出していきます。
- 問** 小中学校統合や小中一貫教育など、少子化を踏まえた将来の教育環境、学校施設の在り方について町の方向性は。
- 答** 生涯学習施設建設を含めた比奈窪56プランの総工費を具体的に示してください。
- 問** 生涯学習施設建設について回答を求めます。
- 答** 用地買収費、建物本体や外構、駐車場などの整備費、解体工事費、それらに係る実施設計費、工事監理費、備品購入費等で40億円程度と見込んでいます。
- 問** 総工事費について回答を求めます。
- 答** 現段階では全体で約40億円程度となります。今後、各費用について根拠のある確実な数字が出れば、しっかりと示していきます。
- 問** 今後、工事費の増額が予想されるリスク、物価や人件費の高騰をどの程度までの金額を上限とし、財政負担を見込んでいますか。どのように財源を確保しますか。
- 答** 資材費や運搬費、労務費等の高騰により、近隣自治体でも当初の設計金額からの増額が見られ、中井町でも同様の影響が予想されます。入札不調や再設計を避けるため、実際の相場や工期を踏まえて、初回での落札を目指し、適切な予算確保が必要で、財源確保については現時点で明言できません。
- 問** 学校施設より生涯学習施設の建設を優先している理由とその判断根拠は。
- 答** どちらも必要かつ重要な教育施策と認識した上で並行して進めています。
- 問** これから学校施設、特に中学校を対応しなければならぬ状態にあります。財政的に大丈夫だろうか心配です。なぜ生涯学習施設を建設するのですか。
- 答** 生涯学習施設を含む役場周辺拠点を整備することが、エリアの価値の向上にもつながります。児童・生徒を含む多世代の利用が見込まれる新たな生涯学習施設を通して、中村地区、役場周辺から町全体に波及するものをつくっていきたくと思っています。
- 問** 町側の理解と町民側の意見との乖離があると思いますが。
- 答** 「わいがやサロン」という

令和2年3月 中井町公共施設長寿命化計画〔学校編〕(抜粋)

優先度	施設名	健全度	築年	長寿命化改修等の実施計画(方針案)など
1	中井中学校 本館棟	43	昭和48	優先度が最も高く、早期に長寿命化改修等の実施を検討。
2	中井中学校 技術棟	53	昭和48	屋根・屋上の劣化度評価はD。早期に長寿命化改修等の実施を検討。
2	中井中学校 特別教室棟	58	昭和48	優先度は高いが、長寿命化改修等の実施時期を検討。
2	中井中学校 教室棟	59	昭和62	屋根・屋上の劣化度評価はD。早期に長寿命化改修等の実施を検討。
2	学校給食センター	53	昭和49	2030年以降大規模改造の計画。

※計画策定後、学校給食センターの耐震化補強工事など対応済みとなっているものもあります。

形で町民の皆様の声を徹底的に聞く手法を取っています。まず、この地域、この役場周辺拠点をまとめさせていただき、町民の合意の上で新たな教育施設への取組を進めていきます。

一般質問



録画配信

生涯学習施設の機能と
その運営体制はせきの たつ お
関野 達夫 議員

教育長 社会教育士など専門人材の登用を検討

現在、進められている生涯学習施設建設事業は、生涯学習活動の拠点として町民等が生涯にわたって、楽しく学び、憩い、寛ぎ、交流し、心豊かな時間を過ごすことができる環境を提供する施設です。

私たちの町の暮らしには、様々な課題があります。例えば「コミュニティの希薄化」・「子育てや介護が生む孤立」・「居場所や出番がない子ども、若者」・「国籍の違いや障がいの有無などによる分断」などです。

地域の抱える課題を解決していくために、地域活動や住民活動を豊かにしていくことが求められています。

問 子どもから高齢者まで、どのように、図書とのふれあいが多くできる工夫を考えていますか。

答 子どもから高齢者まで様々な人々が利用しやすいサービス、長時間滞在できる空間や環境の整備を図り、読書や学習など、知的好奇心を満たされる居心地のよい空間、図書館づくりに努めていきます。

問 近隣市町にはない、特色ある中井町独自の図書館機能を見ますが、どのような運営を考えていますか。

答 図書館の機能を高める方法は、従来の書籍だけではなく、*図書館DXや図書の空間づくりなど、多様な方法があると思っています。

また、中井町の郷土資料に関する書籍の充実を図るなど、中井町らしさを追求していきたいと考えています。

問 既存公共施設を活用した、社会教育活動の場の創出については。

答 既存の公共施設の活用も図りながら、生涯学習や地域学習の取組が多面的に行われ、社会教育活動全体が地域全体に波及することを考えています。

問 生涯学習施設を社会教育活動の拠点とするため、社会教育士を活用しては。

答 学びのまとめ役や、地域住民の学習活動を支援し、人づくりや地域づくりに貢献するため、社会教育士の採用を検討してい

きます。

問 どのように交流拠点である多機能融合施設として運営を考えていますか。

答 ひとつの施設で魅力ある生涯学習機会の提供、屋内のスポーツによる健康づくり、図書や情報の集積拠点など、

多機能に取り組むことで、違う目的の人が施設で出会い、そこから新たな交流が生み出され、施設内ににぎわいをもたらし、各機能が連携する施設としていきます。

問 町は今の事業の進め方で町民が十分納得して、建設を認めていると捉えていますか。

答 令和9年10月の完成というひとつのゴール目標を設定して、諸手続きなどを進めてきました。

今後も、地域懇談会等の開催、広報紙、ホームページ、SNS等を使った情報発信を行い、これまでの取組も含め、誰が見られる

環境整備を行っていき、なお一層、町民の理解を得るため鋭意努力をしていきます。

*図書館DX（ディーエックス）デジタル技術を活用して、図書館のサービスや運営を革新すること



(文部科学省ホームページより)

社会教育士による地域課題解決

一般質問



録画配信

水害からの復旧と 今後の防災・減災対策は



たけい かずのり
武井一紀 議員

町長 安心して暮らせるまちづくりに努めたい

問 今後、昨年の豪雨を上回るような水害が発生した場合、復旧作業も長期になると想定されますが、町と建設業者とでどのような対策を考えていますか。

今後、昨年の豪雨を上回るような水害が発生した場合、復旧作業も長期になると想定されますが、町と建設業者とでどのような対策を考えていますか。

答 土砂崩れのほか、倒木等もあり、交通の障害が生じました。町建設業協会ほか、町内9業者に協力いただき、即日対応できたものもありますが、側溝等に流れ込んだ部分は、撤去に1週間ほどかかりました。

問 道路への土砂流出は21か所と報告を受けていますが、復旧作業を行った業者数と何日間で土砂撤去が完了しましたか。

昨年の台風10号による暖かく湿った空気の影響で町内では豪雨となり、土砂崩れが多発し、中村川や藤沢川は復旧せず今日に至っている場所もあります。また本年も既に国内各地で豪雨による甚大な被害が発生しており、水害に注意が必要です。山間部や民家周辺の排水路の点検や清掃を定期的に行い、豪雨による水害を最小限に抑える必要があります。

問 中村川では中谷橋下流から藤沢川合流点辺りまで、重機による整備が行われていますが、詳しい整備内容は。

また大雨が予想される場合には、詰まりやすい側溝を事前に確認しています。

答 職員が現場確認等に赴く際に、必要に応じて清掃を行うとともに、町発注の草刈り業務委託でも清掃しています。

問 道路の側溝や集水ますに土砂や枯れ葉等が堆積し、本来の機能が発揮されず、冠水した場所があると考えられますが、日頃の点検、清掃はどのように行われていますか。

答 町内建設業者をはじめ、足柄建設業協会等と応急復旧協定を結んでいます。また長期化した場合、役場職員の対応も大変なため、県内市町村の自治体とも職員派遣の応援体制を取れる協定を締結しています。

問 民家付近の側溝や集水ますの機能を維持していくためには、各自治会へ専用の工具を支給し、住民の協力を得て側溝を管理できる体制づくりが必要では。

また大雨が予想される場合には、詰まりやすい側溝を事前に確認しています。

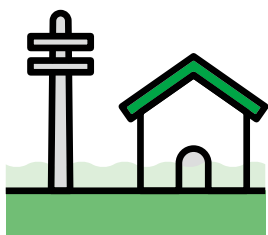
答 専用工具の支給はサイズが大きく、保管に課題があるため、まずは貸し出しで対処し、利用が重複する場合は数を増やしていきます。

問 ニュース等で大雨予報・警報を確認して、危険だと認識しても、いざ避難行動を取ることが難しいと思います。命を守るための確な判断ができるように、水害に特化した避難訓練を繰り返し行う必要があると考えますが。

答 過去の経験からの過信や危険度が実感できないことから危険を認識しても避難行動をとることができないことがあります。地域の危険箇所の把握や、どう避難行動を取るか、地域住民と一緒に考えていく行為そのものが大切な訓練のひとつだと考えています。



中村川の河床状況



一般質問



録画配信

インター周辺の整備と 地域活性化への展望は

た だ しいさお
多 田 勲 議員

町長 引き続き区画整理と改良事業を支援していく

秦野中井インターチェンジ南土地区画整理事業と中井町諏訪地区土地改良事業は、計画の半分以上が終了しており、現在の進捗状況や課題を確認するとともに、終了後のまちづくりに向けて町が目指す方向性や具体的施策について、明確な考えを伺います。

問 土地区画整理事業の進捗状況と地域住民の意見・要望の反映状況は。

答 概ね計画通り順調に進んでいます。地元自治会との工事連絡会も設けられ、事業地隣接地等の課題に迅速に対応していると認識しています。

問 町民から要望のある調整池周辺の植栽について、町の計画と今後の見通しは。

答 調整池外周への植栽は当初計画にはなく、管理や費用負担の課題があるため、土地改良区で今後の進捗に合わせて実現可能性を検討し、最終的に判断されます。

問 土地改良事業における農業

の担い手不足への対策と地域農業への影響は。

答 賃貸希望の農地を集約し、農業法人を誘致する取組が進められています。これにより、雇用機会の創出や地域農家とのパートナーシップが生まれることを期待しています

問 両事業終了後には、どのような効果が期待されますか。

答 企業進出による雇用の創出や税収の増加、交流人口の拡大や定住促進など、地域活性化の効果を期待しています。

問 事業終了後には、公園の維持管理や防災訓練など、地域との協働が求められますが、どのように進めていきますか。

答 事業終了後の公園整備の具休内容は決まっていますが、管理方法や活用方法も視野に入れ、組合や地域の組織と町が協議をしながら進めていきます。

問 中井インター周辺の区画整理は、中井町と秦野市にまたがる珍しいケースであり、こうした事業の推進には広域的な連携

が不可欠と考えますが、どのような形で秦野市との連携を進めていますか。

答 連携については、月1回の理事会前に打合せを行い、秦野市と協議を継続しています。

また区画整理事業の経験が豊富な秦野市から知見をいただき、事業が円滑に進むよう努めており、現時点で大きな課題はありません。

問 事業終了後、この地域をブランド化し、シティブロモーションを進める考えは。

答 中井町だけで決められる事

業ではないため、組合側から意見があれば相談しながら、ブランド化などについて検討していきます。

問 事業終了後、区域内の交通量増加や安全面、周辺道路への影響に対して、どのように準備・対応していきますか。

答 区画整理事業により、グリーンテックな入口交差点は直角に改良され、右折レーンも整備されるため、車の流れが円滑になり、安全性も高まると考えています。

問 両事業区域の無電柱化は景観や災害時の被害軽減に重要で、デジタル基盤整備との連携にも不可欠になります。将来のICT利活用を前提としたまちづくりに向け、両区域の無電柱化についての見解は。

答 事業区域内の既存ガス管や光ケーブルの移設費用が高額なため、地中化は断念したと聞いています。



活力あるまちへ、造成が進むインター周辺

一般質問



録画配信

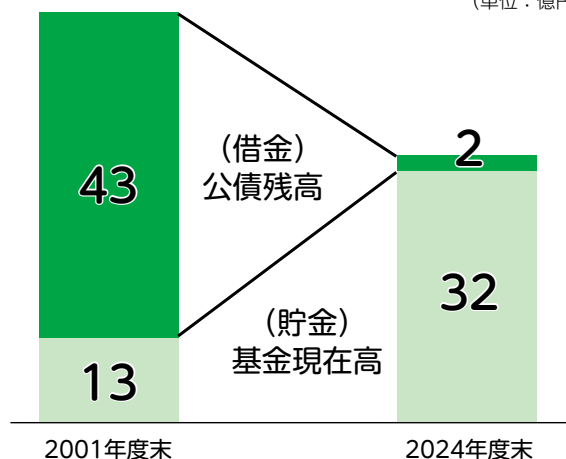
生涯学習施設建設と 町の財政状況の検討は



おじりたかかず
尾尻孝和 議員

町長 財政健全運営に努めサービス低下を招かない

中井町基金現在高と公債残高の推移
(単位：億円)



問 2023年改定版の中井町公共施設等総合管理計画では、今後34年間、建築物系公共施設にかかる費用は116.8億円、年平均で3.4億円と見込んでいます。

町民参加を掲げ、生涯学習施設建設事業が進んできました。しかし、この間、生涯学習施設建設事業と町財政の裏付け、ほかの事業との整合性、これらの現在と将来にわたっての見通しについて、行政の側から説明はされてきませんでした。

答 今世紀に入ってから四半世紀、中井町では箱物建設がなく、公債残高の減少と基金積立ての増額を合わせた金額は、年平均で2.8億円となっています。この年2.8億円という実績の金額と、毎年平均で3.4億円を捻出しなければなりません。この差額、生涯学習施設建設に向けた庁内検討会議でどのような検討をされましたか。

答 庁内検討会自体では、そこまでの検討は詳細にはしていません。

無駄な経費を削減しながら、必要なところ

にはしっかりと投資もしていくスタンスです。

問 5年間で40億円かけての生涯学習施設建設比奈窪56プラン。財源として考えられるのは、5年間の一般会計への組み

込み、基金からの繰入れ、新たな町債の発行、国からの補助金だと思います。

答 さだかでない補助金を外して財源を見込むと、基金からの繰入れ15億円、新たな町債の発行15億円、一般会計への組み込み年平均2億円で5年間10億円、合わせて40億円の想定では。

答 今の段階で国庫補助をどれほど見込むかというのは少し危険な部分があるなかで、今ある財源を充てると、額は別としても、財源の費目、内容としては、考え方のベースにはなりません。

問 県内トップレベルの結婚、妊娠、出産、育児への支援。県内で最初となった学校給食無償化や国民健康保険税均等割の第3子無償化。町独自に高齢者支援員を配置し、介護保険対象外の独り暮らし等の高齢者への家事援助や相談、安否確認。防災行政無線戸別受信機の希望する世帯全てに無償貸与。旧耐震住宅の無償耐震診断。そのほか、町民の暮らしを支えるものもろの事業。これら中井町独自の事業、これからも続けていき、さ

らに拡充を目指していただきたいわけですが、生涯学習施設建設事業と財政上の整合性の検討、どのようにされていますか。

答 生涯学習施設の建設費の関係、子細がまだ出ていない状況です。のはつきり具体的に、財政当局のほうで他事業との関連を検討しているということはお伝えできない状況です。

生涯学習施設の建設によって、事業にしわ寄せが来るそういう判断はないということと考えています。

問 町民の暮らしを支える事業として、自然災害への対策・対応に取り組みたいと思っても、財政上の制約で諦めざるを得ません。今後、そのような事態に落ち込まないためにも、一定の財源が必要では。

答 大きな事業が入れば、余裕は当然少なくなるが、国の制度、交付金等々を活用し、住民生活の充実に取り組んでいきます。

一般質問



録画配信

生涯学習施設建設に伴う
町民理解をそ が なお と
曽 我 尚 人 議員

町長 一層の町民への周知・理解に向けて努める

問 第9回、第10回のわいがやサロンの内容は。

答 第9回はフェスティバルで今の取組状況というものを広く知らしめる場にしています。第10回は、2月を予定。これまでの2年間を振り返ります。次に人材・図書ブース・多目的ホールの活用・歴史など、それぞれ得意な方や興味のある方が、どうあつたら有効に活用できていくのか人材づくりや今後に向けた話を予定しています。

問 生涯学習施設建設を知らない、もしくは知っているが詳細は知らないという町民が非常に多いことを感じています。町民の理解はどの程度進んでいると町は感じていますか。

答 広報紙の特集ページやnoteでこれまでの取組をアーカイブ的に全て見ることもできます。少しでも理解が深まるような取組を引き続き行っていきます。

問 生涯学習施設整備基本構想・計画策定、設計者選定支援事業等委託は随意契約ですが、

地方公共団体による随意契約が認められる場合の例として、地方自治法234条2項、地方自治法施行令167条の2項にて、地方公共団体による随意契約が認められる場合の例として7つの項目がありますが、今回の契約においてどの項目が当てはまるのでしょうか。

答 他をもって代えがたい、町にとって有益だろうというようなかで判断をさせてもらいました。

問 契約者の唯一、ここしかなかったという点は何でしょうか。

答 図書館も含め複合施設の建設にあたり、住民の合意形成、ワークショップなどいろいろな部分で実務経験や実績が豊富なことです。

問 地域懇談会はいつ行う予定ですか。

答 地域懇談会は今年度中にもちろん実施します。しかし、総事業費やそれを支える財源内訳を説明できる段階にならないと地域懇談会として情報としては不十分だと思っています。皆さ

んに提示できる段階になりまして、積極的に展開していきたいと思っています。

問 大きな建物を建てるためリットだけでなく様々な面でリスクが出てくるかと思っています。町ではどのようなリスクを想定していますか。

答 日照等に関しては、建築基準法の中で対応しています。騒音についても全く音漏れがないわけではありませんが、室内の防音対策、近隣に対する配慮は、設計など構造の中で検討していく部分と思っています。

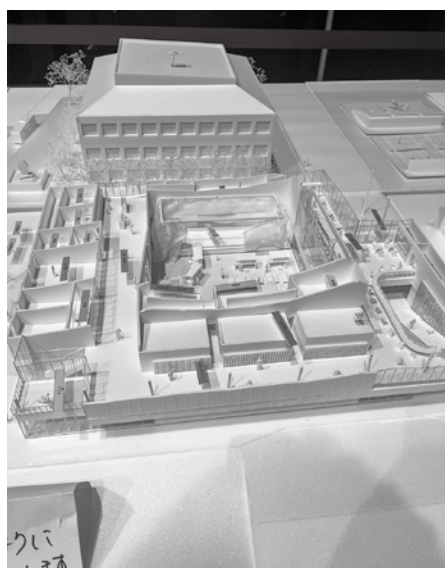
また、交通に関しては駐車場が東側にできて、その進입が増えて、大型車の進입等の対応も今後、併せて検討していくべ

き課題と受け止めています。

問 建設再開に際してアンケートを取っていませんが、改めて町民の声を聞いて、分かりやすくすることによって、皆さんの不安もなくなるのではないかと思いますか。

答 形ではなく、在り方であるというところを改めて私としては常に思っていますし、そこにおいて、それだからこそ対話が生まれ、説明も生まれていくと思っていますので、そこで切り取ってしまったのは、大事なものが失われるのではないかと理解しました。

※note
文章、写真などを投稿できるサービス



新しく作る生涯学習施設の模型

委員会から報告します

総務経済常任委員会



森丈嘉／古宮祐二／加藤久美／石渡正次
委員長 関野達夫／副委員長 武井一紀

令和7年度から総務経済常任委員会も新体制となり、各委員が持ち寄った所管事務調査事項について議論した結果、持続可能なまちづくりのため、あと10年で使用期限を迎える南部地区メガソーラー跡地の土地利用及び接続道路である五分一幹線道路の計画について、調査・研究を行うことに決まりました。

テーマ名は、「南部地区の産業拠点形成に向けて」で、町の経済効果や活性化につながる調査・研究を進めていきます。

文教民生常任委員会



井上泰弘／多田勲／尾尻孝和／曾我尚人
委員長 岸光男／副委員長 相原晃一

近年、全国的に少子化が進行しており、児童・生徒数が減少し自治体において統廃合や義務教育の在り方が議論されています。子供の成長過程において多様な人間関係を通して成長していくことが望ましく、一定規模の児童・生徒数が必要であると考えられます。

委員会においてもこうした現状を重要課題と捉え学校規模の適正化や配置等々、多方面から今後の学校教育の在り方を調査・研究していくこととしました。

議会運営委員会



関野達夫／多田勲／岸光男／加藤久美
委員長 森丈嘉／副委員長 尾尻孝和

議会を円滑に運営するために議会運営全般について協議をし、意見調整を図る場として設置される委員会です。

議会運営委員会に課せられた責務として①議会運営に関すること②議長諮問に関すること③議会改革に関することがあります。

現在は「予算・決算の審査の在り方」について調査研究を進めていますが、「議会基本条例」の見直しも予定しています。

町民の声

かわさき
ひさこ
河崎 弥子さん

私たちはコロナ禍直前の6年前に移り住みました。人口密度が低くゆとりある空間のおかげで、子どもとの生活も閉塞感なく過ごすごがで助かりました。今も、活発な子どもたちの「やりたい」気持ちに尊重できる環境に満足しています。釣りや虫取り、森への冒険、サッカーなどの外遊びを存分に楽しんでいます。

ご近所の方々も温かく、釣りや畑仕事を教えてもらったり、声をかけてもらったりして、子育てを温かく見守ってくれる安心感があります。インターが近く、電車も2路線利用ができ意外にアクセスが良い所も気に入っています。

さらに、9千人程度の人口が行政と町民の距離感を近くして、中井町に参加している実感を持っています。

学校、仕事、医療の選択肢、交通利便性では、都市部には及びませんが、私たちはこの町の魅力に価値を感じています。このような中井町の魅力を維持しながら、生活環境の充実が進むことを期待しています。

表紙の写真は、自宅前のご家族です。



葛川で釣れた魚



里やま歩き

表紙の

テーマ

「中井の元気家族」

ご家族の笑顔を紹介します。



議会を傍聴しませんか

湘南ケーブルテレビ（102チャンネル）生放送

※放送内容は後日インターネット上でも視聴できます。
詳しくは町ホームページをご確認ください。

次回の定例会は

12月2日(火) 開会予定



議会ホームページ

令和7年12月議会より ペーパーレス会議を試行

町議会では、議会改革の一環として、本年8月より新たにタブレット端末を導入し、議会運営のデジタル化を進めています。導入の目的は、紙資料の削減によるペーパーレス化と、それに伴う議会審議や資料管理の効率向上です。これにより、印刷や配布に要する時間や費用を抑えるとともに、環境にも配慮した取組となります。

今後は、タブレット活用をさらに推進し、完全ペーパーレス化と審議の質の向上を目指していきます。



タブレット端末

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、彼岸を境に急に過ごしやすくなりました。議会だよりが発行される11月には秋らしい気候になっていると良いですね。

町議会ではタブレットの試験導入が始まりました。来年度からは基本的に紙は使用せず、電子情報での運用になります。議会だよりでもわかりやすさを基本にしつつ、今まで以上に情報に触れてもらえるように二次コードの使用を増やしていこうと思います。

(曾我)

議会だより編集委員

委員長	相原 晃一	委員	関野 達夫
副委員長	曾我 尚人	委員	井上 泰弘
委員	武井 一紀		